



平成 28 年 10 月 31 日

各 位

会社名 株式会社 魚 力
代表者名 代表取締役社長 中田雅明
(コード番号 7596 東証第一部)
問合せ先 経営企画室長 尾後貫隆
(TEL. 042-525-5600)

平成29年3月期 第2四半期累計期間業績予想数値と実績との差異に関するお知らせ

平成28年5月6日に公表いたしました平成29年3月期第2四半期累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日)の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期 第 2 四半期累計期間連結業績予想数値と実績との差異 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 13,250	百万円 500	百万円 580	百万円 450	円 銭 32.33
実 績 (B)	12,764	301	273	188	13.55
増 減 額 (B-A)	△485	△198	△306	△261	
増 減 率 (%)	△3.7	△39.7	△52.8	△58.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期)	14,212	437	546	442	31.22

2. 差異が生じた理由

売上高は、度重なる台風と大雨の影響による客数の減少に加え、旬の魚が不漁であったこともあり計画を下回りました。一方、経費面では営業経費の抑制に取り組んだものの、今後の新規出店に備えた新卒採用の増加や即戦力としての中途採用の募集強化、パート・アルバイトの時給アップなど、人材確保に係る経費を積極的に投入いたしました。この結果、営業利益は当初の予想を下回ることとなりました。更に、円高による為替差損の影響で、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は計画を下回りました。

なお、直近では、売上高は回復基調にあり、今後の新規出店を概ね計画どおり見込んでいることから、通期の業績見通しにつきましては、現時点での修正はありません。

平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の実績の詳細につきましては、本日公表の「平成 29 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照下さい。

以 上